

千葉市で観る!聴く!楽しむ!文化情報誌 “あでは”

X @culturechiba

f 千葉市文化振興財団
<https://facebook.com/c.c.f.c.p>



Vol.427

Adelta

インタビュー

〈パーカッション奏者〉

島田美由紀

パーカッションの魅力が伝わる
演奏を、たくさんの人に届けたい



MUSIC

ART

EVENT

多様性が生み出した「アメリカ音楽」の魅力

「ヒップホップ」と「ラップ」

千葉市内のイベントスケジュール



島田美由紀

パーカッション奏者／しまだみゆき

profile ●7歳からピアノ、15歳から打楽器を学ぶ。東京コンセルヴァトアール尚美（現・尚美ミュージックカレッジ）打楽器専攻卒業。打楽器を小川佳津子、日比一宏、藤田浩司各氏に師事。在学中から打楽器講師や演奏活動を開始。ヤマハ千葉店マリンバ講師を経て、県内各地の小中学校や高校、吹奏楽講習会にて打楽器トレーナーを務める一方、地方自治体テーマソングレコーディング参加、コンサートホールやライブハウスほか各種施設等にて演奏活動を行う。

マリンバやカホン、コンガなどを演奏するパーカッション奏者であり、講師としても活動を続ける島田さんに、パーカッションの魅力や今後の活動について伺いました。

打楽器を始めたきっかけと、音楽家として活動するまでの経緯を教えてください。

ピアノは7歳から始めていましたが、打楽器を始めたのは、吹奏楽部に入部した高校1年生のときです。ドラムを叩いていた面白くなって、当時は吹奏楽部の活動とは別に、ロックバンドを組んでドラムを担当したりしていました。バンドブームだったということもあり、将来はバンドのサポートをするパーカッション奏者になれたらいいなと思い、音楽の専門学校に入学して打楽器を専攻したんですが、クラシックが専門の学校だったんですね。でも、せっかくクラシックを深く追求する学校に入ったのだから、そこで学べることをしっかり学ぼうと思ったんです。専門学校に在学中から打楽器講師や演奏活動を行い、卒業後に音楽教室での講師になり、その後プロとして独立しました。

現在は、主にどんな活動を行っていますか？

現在は、ライブハウスやカフェ、公共施設や学校等で、演奏活動を行っています。ラテンパーカッションやマリンバ、ポピュラーピアノを用いて、クラシックやポピュラー、ラテン音楽、ジャズなど幅広いジャンルの曲を演奏しています。また、運営している音楽教室では、パーカッションとピアノの個人レッスンをメインに講師をしています。中学校や高等学校の吹奏楽部の打楽器トレーナーとしての活動もずっと続けています。4月20日には、蘇我コミュニティセンターハーモニープラザ分館のハーモニーホールでワンコインコンサートを開催します。ピアノやエレクトーンの先生を対象に、打楽器の奏法やリズムのレクチャーなどをするオンラインの教室なども予定しています。

島田さんが思うパーカッションの魅力、音楽の魅力とは何ですか？

演奏する側から思う魅力は、楽しくて簡単そうに見えるけれど、奥が深いところですね。鑑賞する側としては、聴いていると自然と体を動かしたくなるところでしょうか。演奏を聴いてくれるお客さんを見てみると、そう思います。パーカッションは老若男女問わず聴く人を選ばないし、聴くと晴れやかな気持ちになって、嫌なことを一瞬でも忘れられる、そんなところも魅力ですね。

音楽は、私にとってなくてはならないものですし、一生続けていきたいものです。

島田さんの演奏家としての特徴と、講師としての特徴はそれぞれ何ですか？

演奏家としての特徴は、演奏する楽器もジャンルも幅が広いということですね。クラシック出身なんですけど、ジャズやラテン音楽、ポップスが好きなので、お客さんの要望に広く応えることができます。

自分が高校生生のときには、地元で専門の先生がいなくて、個人レッスンも受けることができなかったのが、講師としては、地元で気軽に頼ってもらえるような先生を目指しています。楽器をやっていると、本やネットではわからないことも多くて、高校生生のときは、専門の先生に対面で聞いたかったことがたくさんあったなと今でも思うので。

音楽家としてチャレンジしたいことと、目指すものは何ですか？

キューバやメキシコ、ブラジルなど中南米の路上でパーカッションを演奏してみたいです。現地の人たちと路上でセッションできたらものすごく楽しいだろうなと思って。演奏家としては、アドリブの技術を磨いて極めたいですね。将来的には、オリジナル曲や演奏の音源など、何か形として残したいと思っています。

将来音楽家を目指す人たちに、アドバイスをお願いします。

生徒には、「明日何が起こるかかわからないような時代なので、好きなことをどんどん極めてほしい」と、よく話しています。

読者のみなさんにメッセージをお願いします。

音楽をたくさん聴いて、楽しんだり癒されたり元気になったりしてください。コロナ禍も落ち着き、以前のように生演奏をいろいろな場所で聴くことができるようになってきたので、自分の演奏に限らず、生演奏の音楽を聴きに行っていたらいいと思います。

パーカッションの魅力が伝わる演奏を、たくさんの人に届けたい



多様性が生み出した「アメリカ音楽」の魅力



「ヒップホップ」と「ラップ」

ニューヨークの若者たちから生まれた文化「ヒップホップ」の音楽的要素を担う「ラップ」は、音楽という形で社会的なメッセージを伝える表現手段として、多くの若者に支持されてきました。

「ヒップホップ」と「ラップ」の違いとは

ヒップホップとは、1970年代にニューヨークのブロンクス地区で開かれたストリートパーティーから生まれました。公園などの仮設ステージでDJやダンスの腕を競うストリートパーティーは、主にアフリカ系アメリカ人の若者たちによって開催されていました。ヒップホップとは、一般的には、DJ、ラップ、ブレイクダンス、グラフィティアートの4つの創造的文化を統合したものだと言われています。ヒップホップとラップは同義語と誤解されることが多いですが、ヒップホップは、アフリカ系アメリカ人の若者たちが生み出したカルチャーの名称であり、ラップは、ヒップホップを構成する一つの要素なのです。

若者に支持される多様性とメッセージ性

ヒップホップは、人種差別や貧困、不平等といった大きな問題を取り上げることで多くの人々に注目され、社会的な意義やメッセージ性を持つものとしても評価されています。ヒップホップの名付け親は、DJのアフリカ・バンバータだと言われています。バンバータは、ヒップホップの黎明期に関わった3人のDJのうちの1人とされており、もともとは4つだったヒップホップの要素に「ヒップホップ史の社会的文化的影響を理解する知識」を加え、平和や団結、愛、楽しむことをモットーに掲げました。ラップは、リズムに乗って韻(ライム)を踏みながら、早口でしゃべるように歌うというスタイルを持つ音楽であり、一般の人々がラップを知るようになるのは、ヒップホップ・グループのRun-D.M.C.が登場する80年代に入ってからのことです。



ヒップホップのミュージシャン

Run-D.M.C. (ラン・ディー・エムシー)

ヒップホップ・グループ「Run-D.M.C.」が、1984年にリリースしたファースト・アルバムはミリオンヒットを記録し、ヒップ・ホップのアルバムとして初のゴールド・ディスクを獲得しています。3枚目のアルバム「レイジング・ヘル」の売り上げは、200万枚を記録し、彼らが着用していたアディダスのスニーカーやカンゴールのハットは、オールドスクール・ヒップホップ*のヒップホップ系ファッションとして定着しています。*ヒップホップ黎明期のラップを指す音楽用語

エミネム (1972-)

エミネムが全世界で販売したアルバム&シングルは、2億2000枚を超えるといわれ、「史上最も売れたアーティスト」の一人とされています。ヒップホップにおける最も優れたヒップホップMC(ラッパー)でありソングライターでもある彼は、数多くの代表曲を持ち、1990年代から2000年代に強い影響力を持ちました。全米チャートでは、アーティストとして唯一となるアルバム9枚連続初登場一位を記録しており、グラミー賞を15回、アカデミー賞を1回受賞しています。



ヒップホップの名曲

Walk This Way

エアロスミスの同名のヒット曲をモチーフにしたRun-D.M.C.の『Walk This Way』は、1986年にリリースされ、全米チャート4位を記録しました。エアロスミスのボーカルのスティーヴン・タイラーと、ギターのパトリック・ドゥーリーがレコーディングに参加し、ミュージック・ビデオにもゲスト出演しています。この曲のヒットにより、Run-D.M.C.はラップとロックを融合した先駆的存在として知られています。

ルーズ・ユアセルフ

エミネムの半自伝的ストーリーを綴り、俳優としても活動している彼が主演した映画『8 Mile』のサウンドトラックに収録され、2002年にリリースされた曲です。ヨーロッパのシングルチャートのトップを席卷し、全米チャートでは、12週連続1位を獲得しています。2009年にアメリカでのダウンロードが自身初の200万回を超え、グラミー賞2部門受賞、アカデミー賞歌曲賞受賞など華々しい記録を持つ、ラップの大ヒット曲です。



知識

自分のスタイルと言葉でメッセージを伝えるラップ

ラップには、フリースタイル、バトル、ストーリーテリング、ポリティカルラップなど、さまざまなスタイルがあります。フリースタイルとは即興ラップのことで、その場で言葉を選び韻を踏んで音楽を披露するというものです。フリースタイルのMC同士がラップを披露し合い、聴衆や審査員を前にスキルを競い合うのがバトルです。MCにはビートやメロディといった音楽的センスとともに、社会問題や日常生活への思いなどを自分自身の言葉で表現することが求められます。



※主催者の都合で変更になる場合もありますので、あらかじめお問い合わせください。
 ※時間は開演時間です。 場 = 場所 定 = 定員 ※料金は断わりがない限り前売料金を表示します。
 ※会員 = 「千葉市文化振興財団 賛助会員」を表し、特に表記がない限り前売券のみの割引価格です。
 ※各施設のウェブサイト (ホームページ) も併せてご利用ください。(施設名などで検索ください。)
 ※★印の催し物は開催館・ホールへお問い合わせください。 ※情報は令和6年3月25日現在のものです。

千葉市民会館

千葉市中央区要町 1-1

☎043-224-2431

<https://www.f-cp.jp/shimin.html>

【大ホール】

■千葉県ハーモニカ協会

サークル交歓会

4/5(金)12:30 無料

■千葉市立稲毛高等学校・附属中学校

稲毛国際中等教育学校 吹奏楽部

第42回定期演奏会

4/7(日)13:30 無料

☎043-277-4400(同部)

■千葉市民謡民舞連合会

民謡民舞春季大会

4/20(土)10:00 無料

■幕張フィルハーモニー管弦楽団

第60回定期演奏会

4/21(日)14:00

1,000円(全席自由)

<https://www.maku-phil.com/>

(同団)

【小ホール】

■笑うアミーゴス

4/7(日)17:00

前売おとな 2,500円

子ども(小学生~高校生)1,500円

(全席自由)

※当日券は各500円増し

☎043-251-0142

(千葉中央おやこ劇場)

■銀色のライセンスイベント

4/10(水)14:00 無料

☎043-245-2886

(ちば演劇を見る会)

千葉市文化センター

千葉市中央区中央 2-5-1

☎043-224-8211

<https://www.f-cp.jp/bunka.html>

【アートホール】

■第52回千葉県婦人合唱連盟

レディース・フェスティバル

4/6(土)11:00 無料

☎0438-97-2415(同連盟)

■第17回藤娥会公演

4/7(日)12:00 無料

☎043-265-3332(日本舞踊 藤娥会)

■第28回千葉ハワイアンフラ協会

オルオルフェア

4/14(日)12:30 無料

☎043-252-0958(同協会)

★Jスコラーズ 東京ブギウギ

昭和の名曲コンサート &

Jスコ歌声クラブ

4/23(火)14:00

3,500円 会員3,150円(全席自由)

■第35回心のふれあい

フェスティバル

4/27(土)10:30 無料

☎0436-26-7850(同事務局)

■芦塚児童室内合奏団

春のコンサート

4/28(日)①10:00②13:00 無料

☎043-273-3124(芦塚音楽研究所)

■The7th joint Concert

Kagumi&Company

4/29(月・祝)14:00

1,000円(全席自由)

☎090-4844-7836

(Kagumi&Company)

【市民サロン】料:▲印は無料

▲第35回心のふれあい

フェスティバル

4/27(土)10:30 無料

☎0436-26-7850(同事務局)

千葉市美浜文化ホール

千葉市美浜区真砂 5-15-2

☎043-270-5619

<https://chiba-aw.jp/mihama>

【メインホール】

★細坪基佳デビュー50周年ツアー

~ Thank You!Half Century ~

「僕の50年という奇跡」

4/6(土)15:30

7,000円(全席指定)

千葉市生涯学習センター

千葉市中央区弁天 3-7-7

☎043-207-5823

<https://chiba-gakushu.jp/>

【2Fホール】

★4月月曜名画座 「真実」

4/8(月)

①10:00~11:50②14:00~15:50

無料 定:各回300人(当日先着順)

※上映開始30分前から会場

整理券を配布(1人1枚)

★4 月木曜名画座

「男と女 人生最良の日々」

4/18(木)

①10:00～11:30②14:00～15:30

無料 定:各回300人(当日先着順)

※上映開始30分前から会場で
整理券を配布(1人1枚)

【地下1F小ホール】

★4 月親子アニメ上映会

①・五味太郎ビデオライブラリー

「ぐうぐうぐう」

「きんぎょがにげた」ほか

・年中行事「なかよし鯉のぼり」

・ミッキーマウス2

「ミッキーのつむじ風」

「ミッキーの船長さん」ほか

②・エリック・カール コレクション

「はらぺこあおむし」

「だんまりこおろぎ」ほか

・ミッキーマウス2

「ミッキーの愛犬」

「ミッキーの大演奏会」

「ミッキーの消防隊」ほか

4/27(土)

①10:00～11:00②13:00～14:00

無料 定:各回50人(先着順)

※上映開始30分前から会場で
整理券を配布

千葉県教育会館

千葉市中央区中央 4-13-10

☎043-227-6141

<http://chibaken-kaikan.or.jp/>

■MGG JAZZ BUDDY

28th Live

4/7(日) 時間未定 有料

■千葉県吟剣詩舞道総連盟

第72回剣詩舞コンクール

4/14(日)29(月・祝)

時間未定 無料

千葉県立中央博物館

千葉市中央区青葉町 955-2

☎043-265-3111

<http://www.chiba-muse.or.jp/>

NATURAL/

開:9:00～16:30(入館は16:00まで)

休:月(月が祝日の場合は翌平日)

料:一般300円 高・大生150円

中学生以下・65歳以上・障害者

手帳等お持ちの方及びその

介護者1名は無料

※生態園は無料

【展示】

★春の展示

理科室のタイムマシン 学校標本

3/9(土)～5/12(日)

★生態園トピックス展

「生態園の野鳥たち」

2/20(火)～7/7(日)

千葉市美術館

千葉市中央区中央 3-10-8

☎043-221-2311

<https://www.ccma-net.jp/>

開:日～木 10:00～18:00

金・土 10:00～20:00

休:第1月曜日(祝日の場合、翌日)

※詳細はお問合せください。

【企画展】

★板倉鼎・須美子展

4/6(土)～6/16(日)

一般1,200円 大学生700円

※小・中学生、高校生無料

★つくりかけラボ 14

荒井恵子 |

和紙のフトコロ 墨のダイゴミ

2/14(水)～5/26(日) 無料

【常設展】

★千葉市美術館コレクション選

一般300円 大学生220円

※小・中学生、高校生無料

※企画展観覧の方は無料

千葉市民ギャラリー・いなげ

千葉市稲毛区稲毛 1-8-35

☎043-248-8723

<https://galleryinage.jp/>

開:9:00～17:15

休:月(祝日の場合、翌平日)

※詳細はお問合せください。

【イベント】

★春のスケッチ会

4/27(土)13:00～16:30 無料

※雨天順延28日

定:15名程度

※応募多数の場合は抽選

場:ギャラリー・いなげ、稲毛公園

幼児～大人

持ち物:画板、好きな画材

※要事前申込(4/13(土)締切)

【市民の展覧会】

■第17回水彩画クラブ青稲会展

4/2(火)～7(日)

■絵コンテの会

4/9(火)～14(日)

■第12回研美会作品展

4/16(火)～21(日)

■第21回水彩画クラブひかり展

4/23(火)～28(日)

■京葉学園絵画クラブ

令和6年春季作品展

4/29(月・祝)～5/5(日・祝)

※4/30(火)休館